

－ 注意 転倒事故多発 ↓ －

この4か月間に、会員の皆さんの転倒による傷害事故が7件発生しています。転倒により骨折した方もおり、日々の生活に大きな支障が出る事態も発生しています。



そこで、皆さんに緊急の要請です。以下の対応策をお読みいただき、今一度、回りの状況、普段の行動を見直していただきますようお願いいたします。

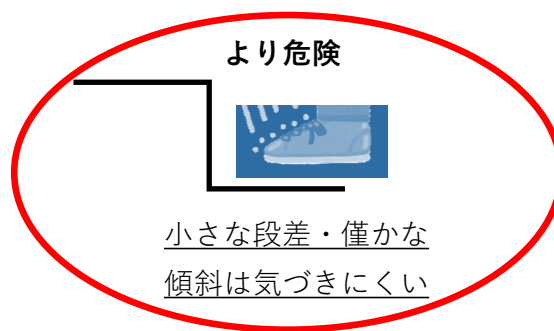
☆ 対応その① 段差・障害物に気を付けましょう

～つまずきの要因（具体例）～

段差、床のくぼみ、椅子、机、ベッド、車止め、縁石、突起物、配線、ホース、マット、排水溝、ごみ箱、モップ、すのこ等



大きな段差、傾斜面は危険と気づきやすい



☆ 対応その② 乱雑さを解消しましょう

歩行箇所存在するあらゆるものがつまずきの引き金となっています。通路・階段・出口にものを放置していませんか？

～つまずきの要因（具体例）～

シーツ、小石、台車、ひも、落ち葉、粉、段ボール、靴、シート、ビニール袋等



整理（S）・整頓（S）・清掃（S）・清潔（S）の頭文字を取った4Sを意識しましょう

☆ 対応その③ 濡れを解消しましょう

～すべりの要因（具体例）～

水、雨、凍結、雪、マット、シーツ、シート、小石、落ち葉、粉、スロープ、油、野菜くず、洗剤、ワックス等



○整理・整頓・清掃・清潔を進めましょう

○仕事場では、歩行箇所にある濡れはすぐにふき取るようにしましょう。

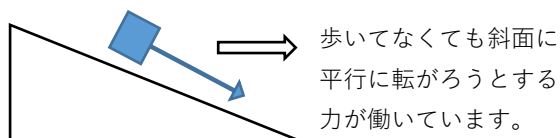
☆ 対応その④ 下り歩行時の「すべり」に注意しましょう

事故は下り方向で多く発生しています。

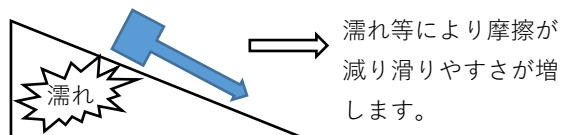


☆ すべりやすい歩行面では

- ① 急がない ② 狭い歩幅で歩行 ③ 靴裏に体重を押し付けて歩く



歩いてなくても斜面上に平行に転がろうとする力が働いています。



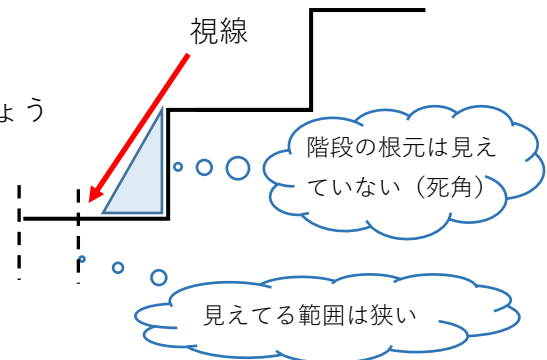
濡れ等により摩擦が減り滑りやすさが増します。

☆ 対応その⑤ 階段の下りは始めと終わりに注意しましょう

階段では、歩幅を階段の寸法に合わせる必要があります。
 このため、歩幅が変わる下り始め、次に歩幅が変わる階段の下でバランスを崩す等の事故が多くなっています



- 階段を下りるときはゆっくり
- 手すりを使用しましょう
- 両手に荷物を持って下ることは避けましょう



☆ 対応その⑥ 適切な「靴」を選びましょう

<h3>サイズ</h3> <p>靴と足はフィットしていますか？</p> <p>足に合った靴は疲労の軽減、事故の防止につながります。</p> <p>踵の当たりなし 前後左右のずれなし 甲部の締めまり つま先の余裕</p>	<h3>屈曲性</h3> <p>親指から小指の付け根を適度に曲げられますか？</p> <p>靴の屈曲性が悪いと、疲労の蓄積、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。</p> <p>屈曲しやすい 屈曲しにくい</p>
<h3>重量バランス</h3> <p>靴の前後の重さのバランスはとれていますか？</p> <p>靴の重量がつま先部に偏っていると、歩行時につま先部が上がりやすく、つまずきやすくなります。</p> <p>つま先が重い</p>	<h3>つま先部の高さ</h3> <p>つま先から床面まで一定の高さがありますか？</p> <p>つま先の高さが低いと、ちょっとした段差につまずきやすくなります。</p> <p>つま先が高い つま先が低い</p>
<h3>靴底の減り具合</h3> <p>靴底がすり減っていませんか？</p> <p>靴底の減りが大きい靴は、滑りやすくなります</p> <p>靴底の凹凸あり 靴底の凹凸が減少</p>	<h3>耐滑性の有無</h3> <p>靴の滑りにくさを確認していますか？</p> <p>耐滑性を有する靴は、以下の箇所で確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 安全靴の場合 個装箱のJISマーク表示の近くに「F1」または「F2」の表示があるか確認してください。 ■ プロスニーカーの場合 靴のべろ裏面の表示に、耐滑性のピクト表示があるか確認してください。 <p>JIS JIS T S101 安全靴 C1/S/F1/F1... 耐滑性</p>
<h3>その他の性能</h3> <ul style="list-style-type: none"> ■ 静電気帯電防止性 静電気帯電による放電着火の防止と低電圧での靴底からの感電防止性能 ■ かかと部の衝撃エネルギー吸収性 かかとのクッション性に関係し、かかと部の疲労防止性能 ■ 耐踏抜き性 釘などの鋭利なものから足裏を防護する性能 <p>静電 衝撃吸収 耐踏抜き性</p>	



× すり減っている



○



- ① 屈曲性
- ② 重量
- ③ 重さのバランス
- ④ つま先部の高さ
- ⑤ 靴底の耐滑性